

滋賀バイオ産業推進機構
平成19年度 第3回理事会

日時:平成20年(2008年)3月21日(金)10:00～
会場:プエルタ大津会議室

1. 挨拶

2. 議事

議案第1号:平成19年度補正予算(案)についてP 3

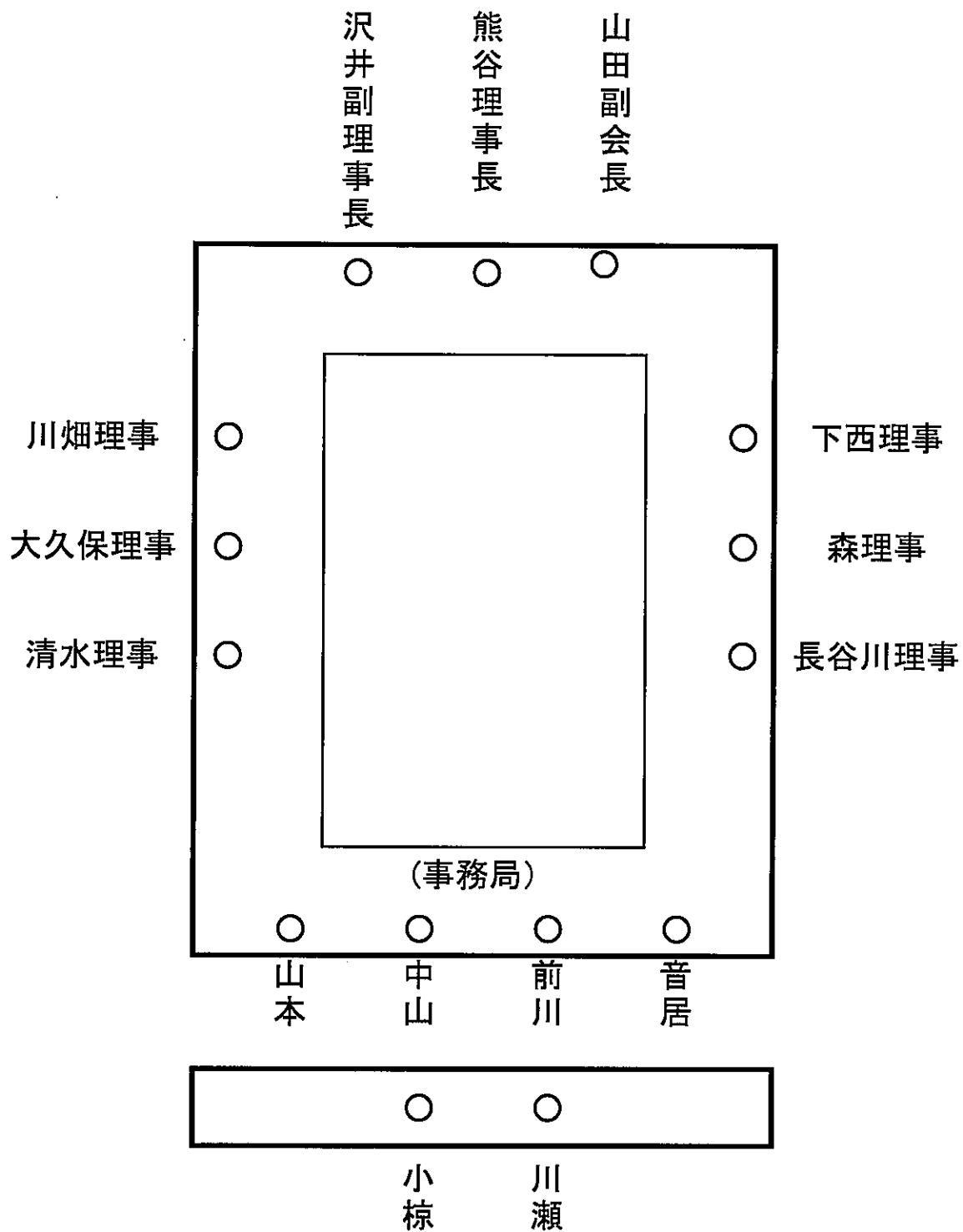
議案第2号:平成20年度事業計画(案)および収支予算(案)についてP 6

第3回滋賀バイオ産業推進機構 理事会

2008/3/21

区分	所属、役職等	氏名	出欠
会長	滋賀県知事	嘉田 由紀子	—
副会長	奈良先端科学技術大学院大学名誉教授	山田 康之	○
理事長	石川県立大学生物資源工学研究所教授	熊谷 英彦	○
副理事長	滋賀県商工観光労働部長	沢井 進一	○
理事	洛東化成工業㈱代表取締役社長	川畑 悟郎	○
理事	滋賀医科大学生化学・分子生物学講座教授	大久保 岩男	○
理事	(社) 滋賀経済産業協会会長	廣瀬 一輝	—
理事	㈱ I. S. T 代表取締役社長	阪根 信一	—
理事	慶應義塾大学名誉教授	清水 信義	○
理事	長浜バイオ大学学長	下西 康嗣	○
理事	(財) サントリー生物有機科学研究所副理事長	田中 隆治	—
理事	立命館大学特別招聘教授	谷口 吉弘	—
理事	滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科教授	長谷川 博	○
理事	特定医療法人社団御上会野洲病院理事長	福井 淳博	—
理事	有限責任中間法人バイオビジネス創出研究会代表理事	森 建司	○
理事	長浜市副市長	加藤 誠一	—
監事	関西電力㈱滋賀支店長	清水 徹	—
監事	㈱滋賀銀行常務取締役	安居 幸一郎	—

平成19年度 第3回理事会 配席図



平成19年度収支補正予算(案)

1 収入の部

単位:千円

区分	当初予算額	補正予算見積額	補正後予算額	摘要
会費収入	1,400	20	1,420	会費収入の増
負担金収入	12,527	△ 2,773	9,754	参加負担金等 827 → 1,061 (234) 県負担金 11,700 → 8,693 (△ 3,007)
雑収入	0	5	5	利息
繰越金収入	282	0	282	前年度繰越金
合計	14,209	△ 2,748	11,461	

2 支出の部

単位:千円

区分	当初予算額	補正予算見積額	補正後予算額	摘要
管理費	3,717	△ 508	3,209	会議費 1,401 → 1,058 (△ 343) 事務費 2,316 → 2,151 (△ 165)
事業費	10,492	△ 2,240	8,252	産学官連携促進事業 6,346 → 4,456 (△ 1,890) バイオビジネス基礎セミナー 研究技術交流会 先進事例見学会 第4回びわこバイオ国際セミナー 事業化促進事業 2,742 → 3,329 (587) バイオビジネス展示交流会 バイオ情報の収集提供 県内外への情報発信 普及啓発事業 1,404 → 467 (△ 937) 県民啓発シンポジウム等 高校生バイオテクノロジー体験セミナー
合計	14,209	△ 2,748	11,461	

滋賀バイオ産業推進機構 平成19年度事業報告

I. 組織の管理運営

1. 理事会等の開催

区分	月日	場所	出席者等
・総会	7月4日	琵琶湖ホテル	会員58人
・理事会 第1回	7月4日	琵琶湖ホテル	理事10人、副会長1人、監事2人
第2回	11月20日	北ビワコホテル グラツィエ	理事6人、監事1人
第3回	3月21日	プエルタ大津	
・産業化推進部会運営委員会 第1回	8月29日	ホテルニューオウミ	委員4人
・研究技術交流部会運営委員会 第1回	7月25日	滋賀医科大学	委員・参与10人
第2回	10月25日	長浜ドーム研修館	委員・参与7人

2. 会員の拡充

会員数(平成20年3月11日現在)

通常会員(企業等)	72者
学会会員(大学・研究機関、学識経験者等)	84者
公益会員(公共団体、公的団体等)	77者
	合計233者

II. 事業の実施

1. 産学官連携促進事業

(1) バイオビジネス基礎セミナー

日時	場所	テーマ等	参加者
8月29日	ホテルニューオウミ	「コア技術を活かしたバイオ産業の創出」 講師) (株)カケンジェネックス、 (株)マルイほか	47人

(2) 研究・技術交流会

区分	日時	場所	テーマ等	参加者
第1回	7月25日	滋賀医科大学	「抗体医療とバイオセンサー」 講師) 滋賀医大 吉貴准教授 (株)免疫生物研究所ほか	49人
第2回	10月25日	長浜ドーム研修館	「ニッポンのバイオマス戦略と最新技術」 講師) 九州工業大学大学院 白井教授、(財)地球環境産業技術研究機構ほか	40人
第3回	12月17日	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	「創薬最前線と産学連携」 講師) 大阪大学大学院 北教授 (株)ツムラ、日経BP社ほか	45人

(2) 先進事例見学会

日時	場所	テーマ等	参加者
3月13日	神戸医療産業都市、 白鶴酒造	神戸医療産業都市の現状と伝統発酵技術の現在と未来	25人

(3) 第4回びわこバイオ国際セミナー

日時	場所	テーマ等	参加者
11月21日	北ビワコホテルグラツィエ	「湖水の生き物に学ぶ ～ゲノムから産業へ～」	112人

2. 事業化促進事業

(1) バイオビジネス展示交流会

日時	場所	テーマ等	参加者
1月25日	北ビワコホテルグラツィエ	「バイオビジネスマッチング in 長浜」	出展35者 128人

(2) バイオ情報の収集・提供

- 企業訪問等(25社:内 会員 14者、非会員 11者)
- 「滋賀バイオ産業推進機構会員メールマガジン」での情報提供(月2回)
- ホームページでの情報発信など
- セミナー等への参加など

(3) 県内外への情報発信

区分	日時	場所	備考
BioJapan2007 出展	9月19日 ～21日	パシフィコ横浜	長浜市やバイオビジネス創出研究会と連携し、出展
第10回びわ湖環境 ビジネスメッセ出展	10月24日 ～26日	長浜ドーム	長浜市やバイオビジネス創出研究会と連携し、出展

3. 県民普及啓発事業

(1) 県民啓発シンポジウム等

日時	場所	テーマ等	参加者
2月8日	ピアザ淡海	環境調和型社会と新エネルギー * 滋賀県事業「科学技術理解促進のためのシンポジウム」との共同開催	109人

(2) 高校生のためのバイオテクノロジー体験セミナー

日時	場所	テーマ等	参加者
12月15日	滋賀県立大学	「ヨシの水質浄化作用とバイオテクノロジー」	11人

議案第2号

平成20年度事業計画（案）

滋賀バイオ産業推進機構は、平成18年2月の設立以来、びわこバイオステージ構想に基づき、人材育成、情報提供、産学官連携促進の場づくりを中心にバイオ産業の振興に向けて取組んできた。また、県の経済振興特区、長浜バイオネットワークとも連携し、長浜を一つの拠点として県全体のバイオ振興を図っている。

こうした中、長浜地域では、平成19年4月の長浜バイオ大学大学院開学や長浜バイオインキュベーションセンターでの事業化の進展、また、びわこ南部地域では、医工連携ものづくりクラスターの形成に向けた文部科学省「都市エリア産学官連携促進事業（発展型）」の採択、平成20年4月の立命館大学生命科学部・薬学部開学など、大学等の研究機能の充実や産学官連携での産業振興の進展などが見られつつある。

これらの状況を踏まえ、平成20年度においては、これまで重点を置いてきました人材育成や情報発信事業に加え、地域企業と大学等研究機関との一層の連携促進による研究開発プロジェクトの構築や、新事業の創出・販路開拓支援などの、より事業化に向けた取り組みを、滋賀県、（財）滋賀県産業支援プラザ、近畿バイオインダストリー振興会議等、県内外の関係組織と連携を図りつつ、効果的効率的に進めることとする。

I. 組織の管理運営

1. 理事会等の開催

当機構の運営方針、事業計画・事業報告、収支予算・決算等必要な事項を審議・決定し、事業の企画・運営等を行うため、各種会議を開催する。

- ・総会（年1回開催予定：6月頃）
- ・理事会（年2回予定：6月、3月頃）
- ・部会運営委員会等（随時）

2. 会員の拡充と相互交流の促進

県内のバイオ関係者の幅広い関係者の参画を得、事業を充実するため、会員の勧誘に努めるとともに、会員の研究、事業等に関する情報を整理し会員相互の交流に資する。

II. 事業の実施

1. 産学官連携促進事業

(1) 研究技術交流会

大学等研究者と企業、公設試との交流による共同研究の立ち上げ、研究開発プロジェクトの構築を目指し、最新のバイオテクノロジーや大学等のシーズに関する情報提供、交流・意見交換を行う。（3回）

2. 産業化促進事業

(1) バイオビジネス2008 in びわ湖

「びわ湖環境ビジネスメッセ」と連携し、県内外から、バイオベンチャーをはじめとするバイオ関連企業や大学等研究機関、産業振興団体に幅広い参加を求め、滋賀県から、全国に向けて最新のバイオビジネスの情報発信、関係者の交流の場を提供とする。

① ビジネス・プレゼンテーション&展示交流会

ビジネスパートナーを求めるバイオベンチャーや大学等研究者等を対象に、ビジネスプレゼンテーションと技術や商品の展示を行い、B to Bを重視したビジネスマッチングを行う。

② バイオビジネス基礎セミナー

一般の中小企業者等を対象に、バイオ産業への参入を促進するため、バイオテクノロジーや市場の動向などに関する情報提供するためのセミナーを行う。

③ びわこバイオフォーラム

地域発のバイオ産業創出に繋げるため、滋賀で研究開発、事業化が期待できるバイオテクノロジーやビジネスについて、バイオ関連企業や研究者、バイオ産業創出に取り組む団体等関係者などを講師に迎え、フォーラムを開催する。

(2) 情報収集・発信事業

会員企業や機関等の研究開発、ビジネス活動の状況を訪問やセミナーへの参加等により収集・整理するとともに、会員に関する情報や補助金等の支援策の情報を、ホームページや会員メール等により情報発信を行う。

会員企業やインキュベーション施設入居ベンチャー等の販路開拓等を促進するとともに、企業立地にも資するため、展示会等への参加により、滋賀からの情報発信を行う。(随時)

3. 県民普及啓発事業

一般県民等を対象に、バイオテクノロジーに関する正しい理解とその有用性の認識を促進するため、県立大学で開催される日本育種学会市民公開シンポジウムと連携して、県民啓発シンポジウムを開催する。(1回)

4. その他関連事業

本機構の目的を達成するため、関係機関との共催・後援事業の実施、会議、イベント等への参加などを行う。(随時)

議案第2号

平成20年度収支予算(案)

1 収入の部

単位:千円

区分	予算額	摘要	
会費収入	1,440	会費(通常会員 20千円×72会員)	1,440
負担金収入	7,215	参加負担金など	515
		県負担金	6,700
合計	8,655		

2 支出の部

単位:千円

区分	予算額	摘要	
管理費	3,507	会議費	1,338
		総会、理事会、部会運営委員会等	
		事務費	2,169
事業費	5,148	産学官連携促進事業	683
		研究技術交流会	
		産業化促進事業	4,150
		バイオビジネス2008 in びわ湖	
		ビジネスプレゼンテーション&展示交流会(2,544)	
		バイオビジネス基礎セミナー(160)	
		びわこバイオフォーラム(491)	
		情報収集・発信事業(955)	
		普及啓発事業	315
		県民啓発シンポジウム	
合計	8,655		